



高橋 八重典 議員
無会派

問 ニート中年化・8050問題

答 地域と協力し包括的支援

- 問** 80代の親が50代の子どもを支える8050問題について以下問う。
本市のニート人口の把握は。
- 答**〔福祉課長〕把握していない。
- 問** 全国統計の中で35歳以上のニート人口は。
- 答** 27年は19万人、28年は20万人、29年は18万人。
- 問** 市での支援事業は。
- 答** 自立支援相談や就労支援を行っている。
- 問** 国・県での支援事業は。
- 答** 「地域若者サポートステーション」、「ワンストップサービスセンター」などで支援。
- 問** 医療機関と連携した医療ソーシャルワーカーなどの設置は。
- 答** 医療ソーシャルワーカーも含め各分野の協力による包括支援を行っている。
- 問** この問題を市としてどう受け止め、対策するのか。
- 答** 相談できる体制づくりが必要。
- 問** 生活保護事業の実績は。
- 答** 28年度約4億4800

問 高齢者に生きがい目標を

答 敬老事業の縮減を見直す



- 万円、29年度約4億1千万円。
- 問** このままでは、生活保護事業費が膨らむが市長の考えは。
- 答**〔市長〕関係各所と連携を深めると共に地域の方と協力し、地域全体で包括的な支援を行っていく。



▲金婚式の記念品として贈呈されていた置時計

- 問** 敬老事業見直しについて以下問う。
米寿お祝いの品贈呈の対象人数と経費は。
- 答**〔介護高齢課長〕30年度は171人で約103万円。
- 問** 来年度の予定は。
- 答** 贈呈品の単価を6千円から5千円に減額する。
- 問** 金婚式参加者数と経費は。
- 答** 29年度は84組で228万3千円。
- 問** 来年度の予定は。
- 答** 式典と記念写真は予定通り行つが、記念品の置時計は。
- 問** 市長総括を。
- 答** 議員や市民の意見を聞きながら新年度中にその方向性を定めていく。
- 問** 敬老会対象人数と参加者と経費は。
- 答** 29年度は対象者3552人、参加者699人、経費約483万円。
- 問** 見直しや検討の考えは。
- 答**〔市長〕対象者を80歳、88歳などに限定し事業を実施、あるいは他の行事と合同開催する案などを検討している。
- 問** 計の贈呈は無くす。
- 答** 敬老会対象人数と参加者